

公表 保護者からの事業所評価の集計結果（保育所等訪問支援）

事業所名	Wapi稲毛				公表日	2026年 4月 1日		
					利用児童数	29名	回収数	15名
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	9	4		2		ご利用者の少ない時間帯もしくはいない時間帯に面談を設定することも可能です。できるかぎりプライバシーに配慮して相談室での面談を実施してまいります。
	2	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	15					
	3	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	14		1			
適切 な 支 援 の 提 供	4	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	11	3		1		
	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15					
	6	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14		1			
	7	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	12	1		2		訪問支援後に、FBの時間を設けてお子様の様子を共有しています。訪問先からのご提案により、必要に応じて支援計画の見直しも実施できます。
	8	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14		1			
	9	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	2				
	10	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	15					
保 護 者 へ の 説 明 等	11	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15					
	12	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15					
	13	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14		1			
	14	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	14	1				
	15	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	3		1		支援でのお子様の様子を共有させていただき、FBを丁寧に行うように心がけております。ご相談等にも都度面談の時間を設けて対応いたしますので、いつでもご連絡ください。
	16	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	1				
	17	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	2				毎回支援のご報告をメール等で実施しております。面談や相談にも都度、応じておりますので、いつでもご連絡ください。
	18	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15					
	19	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	14	1			小学校の担任の先生からwapiの方に毎回適切な助言をもらえてありがたいと言われています。	今後も、連携先への丁寧な説明と対応を心がけて参ります。
	20	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	14	1				

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	14	1		実施した報告を連絡などを記載するページに記載しているため、読みづらさがある。実施記録のページを活用検討してほしい。	次年度より実施記録の公開を実施していきますので、支援記録をご確認いただけるよう整備いたします。
非常時等の対応	22	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15				
	23	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	1			
	24	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	14	1			
満足度	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15				
	26	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	15				
	27	事業所の支援に満足していますか。	14	1		定期的に子どもの様子を療育的な時点で見てもらえることで、とても助かっています。	

公表 事業所における自己評価結果（保育所等訪問支援）

事業所名		Wapi稲毛		公表日		2026年 4月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 体制	1	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	5	現場の人員が不足している場合は、施設での支援を優先して調整しております。可能な限り、人員の調整を行い複数体制で訪問できるように調整していけるように努めてまいります。	訪問支援のご契約いただいているご家庭が多いため、補訪問支援に伺える職員育成を進めております。	
	2	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7				
業務改善	3	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7				
	4	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7				
	5	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2			第三者により外部からの評価を受けてまいり状況ですが、必要に応じて実施を検討してまいります。
	6	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7				
	7	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	7				
適切な 支援の 提供	8	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	7				
	10	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7				
	11	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1			お子さまの行動や言動を観察し、発達段階を踏まえた特性等から、対応を検討し園や学校と共有確認を行っております。
	12	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	7				
	13	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7				
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	お子様の状況に応じた対応や手立てを考え、現時点でどのような支援が適切かを検討しています。	訪問支援先の先生方とも連携を図り、お子様の様子を共有しながら、日常的な支援に取り組めるように連携しております。	
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		必要に応じて、職員間での振り返りを実施し、個別支援や次の訪問支援に繋がるように相談・検討を実施しております。		
	16	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	7				
	17	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	7				
18	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7					
関係 機関や 保護者	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7				
	20	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7				
	21	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7				
	22	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4	3			

自 と の 連 携	23	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4	3		
	24	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			ご報告を送り、共通理解を図っていますが、報告の未読や返信がないケースもみられます。近況や家庭での様子をうかがえるように働きかけやご家庭との連携も深めていけるように努めます。
	25	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7			
保 護 者 等 へ の 説 明 等	26	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	27	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	7			
	28	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	29	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	7			
	30	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	7			
	31	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7			
	32	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	33	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	1		定期的な発信やSNSを活用するなど、改善していかねばと思っております。訪問支援に関しては、支援先に伺い、個別での報告を行なっているので通信やSNS活用などの発信は必要ではないように思う。
	34	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			万が一に備えてメモに訪問先施設名、対象児の名前など個人情報にかかる内容は明記しないように留意している。
	35	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
訪 問 先 施 設 へ の 説 明 等	36	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	7			
	37	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	7			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	7			
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	40	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	7			
非 常 時 等 の 対 応	41	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2		訪問支援に関しては、こちらで策定するのではなく訪問先の園や学校のマニュアルや訓練に沿った対応となります。
	42	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	2		安全計画を作成し、施設内で研修訓練を実施しております。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	2		訪問支援での事案に対し、事業所内で共有、再発防止策について話し合い、検討しています。
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			虐待防止・身体拘束に関する研修を年2回実施しています。
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1		虐待防止・身体拘束に関する研修を年2回実施しています。契約時に説明同意を得た上で、支援での職員の対応や働きかけが、虐待や身体拘束に該当しないか検証しています。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果（保育所等訪問支援）

事業所名	公表日	2026年4月1日
Wapi稲毛	利用児童数	回収数 20 件

チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	14	6		<ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすいです。ですが、大勢の保育だとすぐに活かせないこともどうしてもあります。 ・子ども自身の特性や発達だけでなく、保育所の集団生活も生かせる助言を多くいただいている。 ・専門的な知識は理解できるが保育に取り入れるのは難しい。 ・気がついたことを教えてくれる。 ・対象の児童だけでなく、学級への指導についても指導していただきありがとうございます。 ・訪問支援は彼女達が困らないように園での集団生活について助言いただきたいです。 ・授業中の様子をよく見ていただき、何に困っていたかを具体的に教えてくださるのでありがとうございます。 ・とてもわかりやすいです。担任や関わる教職員にとって支援するポイントがわかりました。 	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	16	4		<ul style="list-style-type: none"> ・より専門性を感じる。 ・Wapiでの姿は落ちついているとは聞きすぎるが集団生活の中での対応が難しい。 ・困っていることはわかっている、具体的にどんな支援をすれば児童にとってわかりやすいのか、私もわからないことがあるので、教えていただけて助かっています。 	
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	16	4		<ul style="list-style-type: none"> ・本人の困り感は幼稚園と事業所とで同じことがあるので対応方法の共通理解を今後お願いしたいです。 ・事業所へ持ち帰り、協議をした上で適切な回答をもらっている。 ・一人一人丁寧に回答していただいているが、定期的にじっくりお話できる機会があるといい。 ・具体的な手立てを教えていただけて助かっています。 ・質問したことがなく、今度機会があったらしたいと思います。 ・お家の人の様子やWapiさんで行っていることについていつも教えていただけてありがとうございます。 	
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	15	5		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との関りが深いのでその内容を教えていただけるのはありがたいです。 ・課題に対し取り入れやすい対応を示してくれるため保育に取り入れやすい。 ・個々によって異なるが対象児が利用することを楽しみにしている。前向きになれている。 ・効果が出るまで時間がかかったり見えにくかったりする場合もあるが、確実に軽減されたと思う。 ・まだ始まったばかりなので、訪問支援について保護者と話したいと思います。 ・もともとすぐく困っているということはなかったのですが、児童がもっとすぐやすくなるような助言をいただけています。 	
5 事業所からの支援に満足していますか。	15	5		<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園では個別の対応に限りがあるので、丁寧に指導してもらえるのはありがたいです。 ・継続的な支援をこれからもお願いしたい。 ・紙面では詳しく丁寧に回答して下さっているが、直接お話しする機会があるとより密に情報共有できると思う。 ・訪問支援は彼女達が困らないように園での集団生活について助言いただきたいです。 ・児童が楽しそうに通っている姿が見られます。 ・私が気がつかないことも多いので、小さな困りごとなども教えていただけてありがたいです。 ・お母様も色々な方に見守っていただけていると安心している様子です。 	

その他のご意見	ご意見を踏まえた対応
<ul style="list-style-type: none"> ・訪問していただいたその時に担任がお話することが理想ですが、他の子どもたちを保育しているので、それはできません。代わりに保護者と話すか、時間をずらして電話で対応してもらえるとありがたいです。たくさん事業所さんの訪問があり日程調整等、担任に負担がかかっている現状です。（大切なことだとは思いますが） ・今後も児童が学校でよりすぐやすくなるようにお力添えいただければ幸いです。 ・直接ではなく観察のみなので「どちらともいえない」になります。千葉市の規定では、月2回の訪問が原則となっております。 ・特性のある児童への理解と支援を学校でも充実させていけるよう今後ともよろしく願います。 ・要配慮認定されている園児ではないので「特別扱い」をできないところに難しさを感じています。園には二入以外にも子供がいるので「集団生活」を二人がストレスを感じるこ 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの園・学校の先生方よりご意見をいただきありがたく思っております。現場の先生方が必要とされている、手立てやサポートと一緒に考え、丁寧に提案させていただき、連携を図ってまいります。 ・訪問支援のご要望を多くいただいているため、月1回程度の訪問日程となる場合もありますが、お子様の様子が安定しており、特別な対応が必要でない場合は、経過観察として頻度をご相談させていただきながら、ご家庭の要望、園や学校の活動にあわせて対応していきたいと思っております。 ・先生方とのフィードバックのお時間もご負担にならない形で、設けていくことで連携を深めていけるように努めてまいります。

となくできるように支援していきたいです。

- ・Wapiさんでの活動内容や様子ももっと知ることができるとうれしいです。
- ・単年ではなく、複数年みてくださっているのが、様々な情報をいただけてありがたかったです。特に指導の目的を保護者にかみくだいて伝えてくださったおかげで、すぐ子どもが安定しました。
- ・実際に児童についていただき、興奮している時などはこうしたら落ちつく事や、活動に参加する時集中して行えるように足の位置はこうするなど、とても具体的に今後も実践しやすいものを提案していただきとても力になってもらいました。日常のこまやかな、どうしたらと思う所も相談にのっていただき、保育者にとっても心の支えになっていただいた事をとても感謝しています。その子の楽しいできたねを共感して伝えていく姿を見習っていきなと訪問していただく度に勉強させていただいた貴重な時間でした。
- ・すぐく得るものがある訪問支援でした。体の感覚の話や刺激の話など、私たちが気づけなかった所にアドバイスをいただきためになりました。今度Wapiさんへ見学に行かせていただきたいです。
- ・日頃、保育活動の中で自然にお子さんと関わって下さっています。丁寧な関りは見ていてこちらも学ばせて頂いています。
- ・対象児のお迎えの時間によって保育の活動を考慮していくこともあるので、お互い共有する時間を作っていけるとよいと思う。

公表

事業所における自己評価総括表（保育所等訪問支援）

○事業所名	Wapi稲毛		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 15日		2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	名	(回答者数) 名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 15日		2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	名	(回答者数) 名
○訪問先施設評価実施期間	2026年 1月 15日		2026年 1月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	件	(回答数) 件
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問支援経験が豊富な専門職、教員免許のある職員が対応することで、療育的、専門的な視点で情報共有を行うことができる。	訪問先の園・学校のご要望に応じた柔軟な対応を心がけている。	保護者様、訪問先の先生方が、相談しやすいように、丁寧なご提案や専門的な手立てをお伝えできるように努めてまいります。
2	学校や園の様式とともに、療育機関での様子も踏まえ、個の姿と集団での姿を共有させていただくことで課題を捉え、お子様の状況に必要な手立てや環境調整をご提案している。	訪問支援に伺った際は、可能な時間内で情報共有、FBを実施している。お子さんの課題だけでなく、先生方の困り感を共有し、対応に必要な手立てを検討し、先生方がやりやすい、取り入れやすい方法や手立てをご提案できるように進めている。	必要に応じて、療育施設に見学に来ていただくなど、連携を深めていけるようにする。
3	保護者様、園・学校・療育施設3者が、お子様の育ちや課題を一緒に考えていくことができる。		

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設での通所支援と併行して、訪問支援に伺う時間帯が午前中になることが多い。	訪問支援制度への理解や認知がいただけていないと感じる状況もあるため、受け入れや支援開始までに時間を要することがある。	お子様、保護者様が、園や学校で安心して過ごせるように、必要な手立てや支援の方法を検討、提案し、専門的な視点も共有できるように努めてまいります。
2	訪問支援に対応できる、経験のある職員に限られている。	各園や学校の大切にされている方針や理念は異なるため、訪問先の状況に応じた柔軟さが求められる。	訪問支援で連携を図ることで、園や学校の先生方が、集団の中でのお子様の対応に必要な手立てを備えることで、先生方も成功体験を得られるように、一緒に考え、お子さんの成長を支えていきたいと思っております。
3			